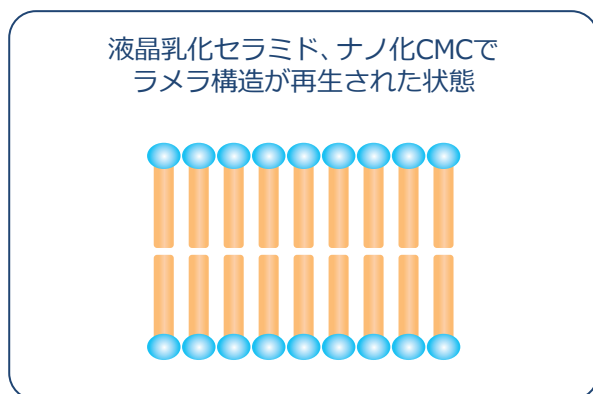
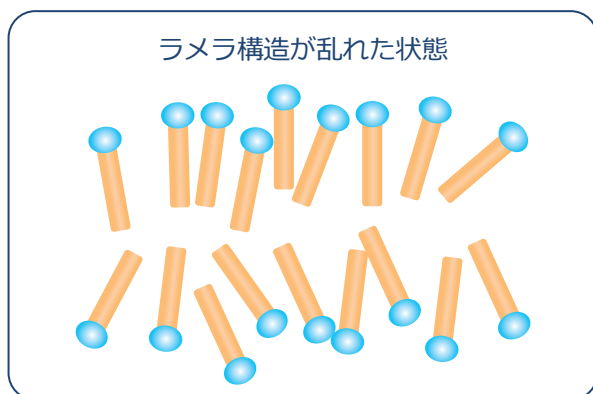
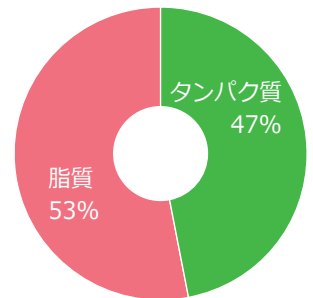


リトル・サイエンティストでは、髪をつなぐ成分として重要なCMCも追求し続けています。

CMCの構成成分は、タンパク質47%、脂質53%になっています。その中で脂質は細胞間脂質と呼ばれ、セラミド、コレステロール、18-MEAなどから成り立っており、互いに規則正しく並ぶ【ラメラ構造】を形成しています。ダメージ毛では、この【ラメラ構造】が乱れ、本来の機能が期待できなくなります。そうした乱れた【ラメラ構造】を補修するために、リトル・サイエンティストでは様々な方法を提案し、製品化を行ってきました。

## CMCの構成成分



その一つが【ナノ化CMC】です。CMC成分を髪の内部に浸透させることは技術的に困難でしたが、CMCをナノ化する技術の発見で、『ベータレイヤーミスト』として製品化することに成功。

さらに研究を重ね、乱れた構造を整える新たな技術を見つけることができました。

それが【液晶乳化ヒト型セラミド】です。液晶とは、「規則正しく並んだ液状の物質」のこと。この【ナノ化CMC】と【液晶乳化ヒト型セラミド】を用いた独自の処方により、乱れた構造をさらに整えることに成功したのです。その結果、CMC補修性能、ダメージを受けて失われたツヤの回復機能が飛躍的に向上。

そうして製品化されたのが、『ベータプレミアムファイバータ』、『ベータレイヤーミスト』、『ベータレイヤーエマルジョン』、『ベータレイヤーCMCケアシャンプー・トリートメント』です。



ベータプレミアム  
ファイバータ



ベータレイヤー  
ミスト



ベータレイヤー  
エマルジョン



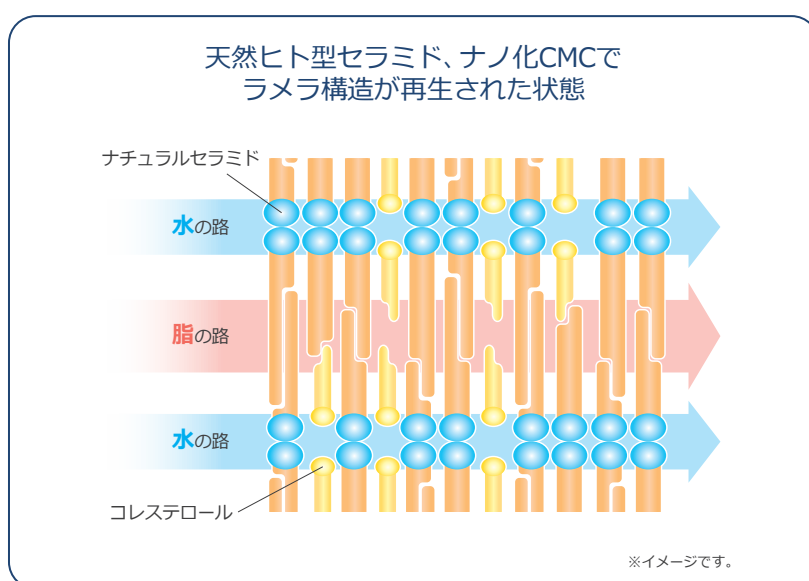
ベータレイヤー CMCケア  
シャンプー、トリートメント

【ナノ化CMC】と【液晶乳化ヒト型セラミド】は、今ではラメラ構造の補修の常識となっていますが、最新の研究で【天然ヒト型セラミド】の抽出・精製に成功し、『ガルバ ミスト』、『ガルバ エマルジョン』として製品化しています。

【天然ヒト型セラミド】は、日本が誇る発酵技術により生み出された天然セラミドで、**21種類の分子種**が含まれています。そのうち、極めて強く安定したラメラ構造を作る分子種が7割を占めており、髪の毛の内部をしっかりと長く補修することが可能となったのです。

CMCへのあくなき挑戦が、新たな補修技術を生みだしています。

リトル・サイエンティストの研究開発はまだまだ続きます！



ガルバ  
ミスト



ガルバ  
エマルジョン